

令和8年度

第1回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書課

## 1 アンケートの概要

|       |                                                      |
|-------|------------------------------------------------------|
| 調査対象者 | 令和8年度 市政モニター 200人                                    |
| 調査期間  | 令和8年7月1日（水）～令和8年7月15日（水）                             |
| 調査方法  | 郵送またはインターネット                                         |
| テーマ   | ① 新居浜市市制施行90周年記念事業に関するアンケート<br>② 事故のない楽しい太鼓祭りの実現に向けて |
| 回答率   |                                                      |

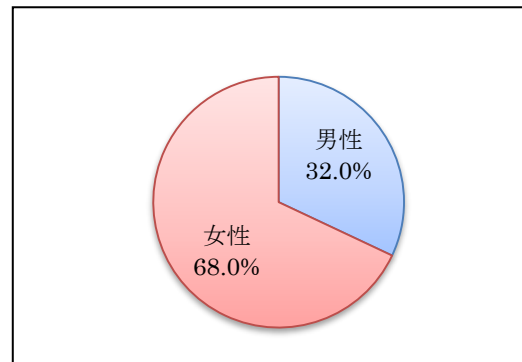
| テーマ | モニター数（人） | 回答者数（人） | 回答率   |
|-----|----------|---------|-------|
| ①   | 200      | 185     | 92.5% |
| ②   | 200      | 175     | 87.5% |

## 2 市政モニター内訳（※令和8年7月1日時点）

### ＜性別＞

（単位：人）

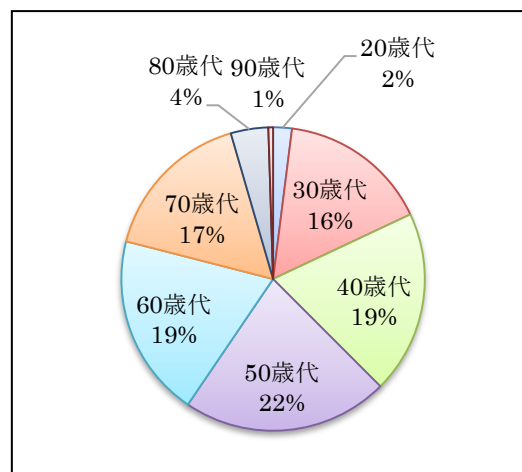
|    |                 |
|----|-----------------|
| 男性 | 64<br>(32.0%)   |
| 女性 | 136<br>(68.0%)  |
| 合計 | 200<br>(100.0%) |



### ＜年代別＞

（単位：人）

|      | 男性 | 女性 | 合計         |
|------|----|----|------------|
| 20歳代 | 1  | 3  | 4 (2.0%)   |
| 30歳代 | 4  | 28 | 32 (16.0%) |
| 40歳代 | 7  | 32 | 39 (19.5%) |
| 50歳代 | 12 | 32 | 44 (22.0%) |
| 60歳代 | 14 | 25 | 39 (19.5%) |
| 70歳代 | 21 | 12 | 33 (16.5%) |
| 80歳代 | 4  | 4  | 8 (4.0%)   |
| 90歳代 | 1  | 0  | 1 (0.5%)   |

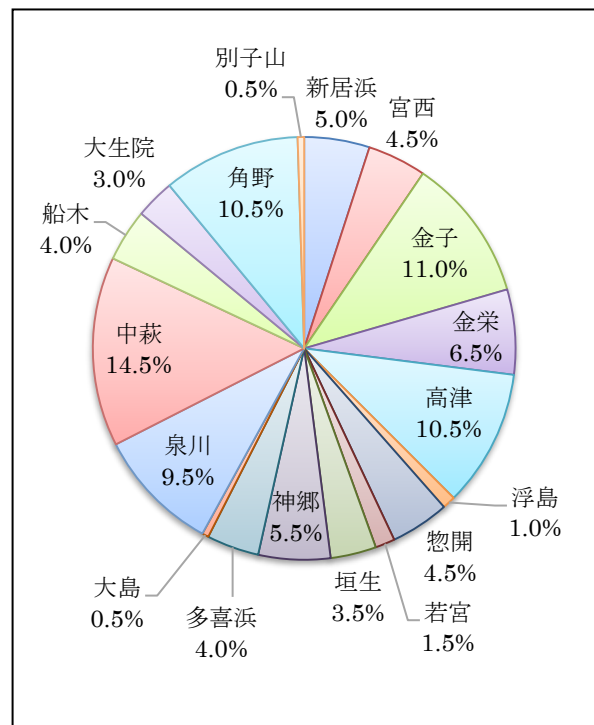


※年齢は令和8年4月1日時点

＜居住地域別＞

(単位：人)

|     | 男性 | 女性 | 合計        |
|-----|----|----|-----------|
| 新居浜 | 3  | 7  | 10( 5%)   |
| 宮西  | 2  | 7  | 9( 4.5%)  |
| 金子  | 8  | 14 | 22( 11%)  |
| 金栄  | 1  | 12 | 13( 6.5%) |
| 高津  | 11 | 10 | 21(10.5%) |
| 浮島  | 2  | 0  | 2( 1%)    |
| 惣開  | 1  | 8  | 9( 4.5%)  |
| 若宮  | 0  | 3  | 3( 1.5%)  |
| 垣生  | 4  | 3  | 7( 3.5%)  |
| 神郷  | 2  | 9  | 11( 5.5%) |
| 多喜浜 | 3  | 5  | 8( 4%)    |
| 大島  | 1  | 0  | 1( 0.5%)  |
| 泉川  | 5  | 14 | 19( 9.5%) |
| 中萩  | 13 | 16 | 29(14.5%) |
| 船木  | 1  | 7  | 8( 4%)    |
| 大生院 | 3  | 3  | 6( 3%)    |
| 角野  | 3  | 18 | 21(10.5%) |
| 別子山 | 1  | 0  | 1(0.5%)   |



＜回答方法 種別＞

(単位：人)

|          |                 |
|----------|-----------------|
| 郵送モニター   | 56<br>(28.0%)   |
| Eメールモニター | 144<br>(72.0%)  |
| 合計       | 200<br>(100.0%) |

＜選任方法 種別＞

(単位：人)

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 公民館推薦 | 44<br>(22.0%)   |
| 公募    | 156<br>(78.0%)  |
| 合計    | 200<br>(100.0%) |

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

### 3 調査結果

#### テーマ① 新居浜市市制施行 90 周年記念事業に関するアンケート

##### 【調査趣旨】

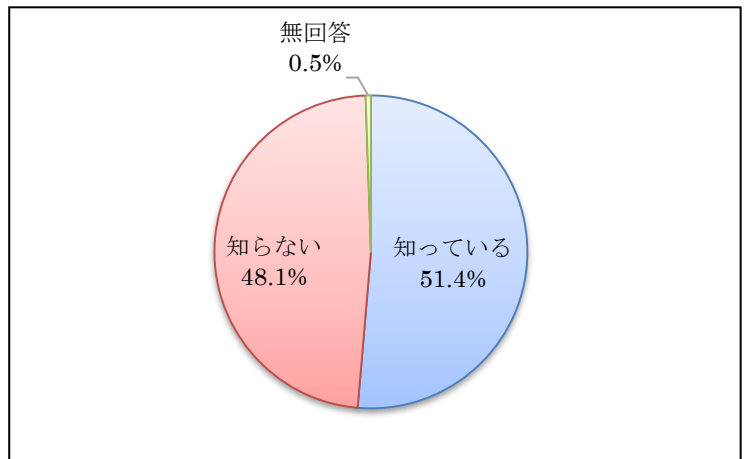
本市は、来年度に市制施行 90 周年という節目の年を迎えることから、記念事業の実施にあたり、市政モニターの皆さまにもご意見を聞かせていただき、共に節目の年を盛り上げてまいりたいと考えておりますのでアンケートに御協力をお願いいたします。

(担当課：総合政策課)

(※問 1 はモニター属性特定のための設問であり、省略)

#### 問 2. 本市が来年（令和 9 年）市制施行 90 周年を迎えることを知っていますか？（1 つ選択）【必須】

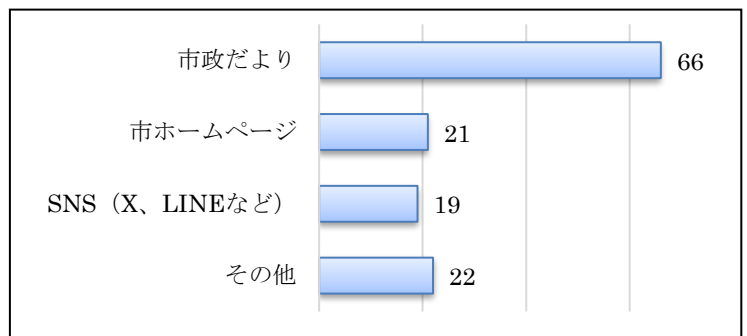
|          |       |
|----------|-------|
| 1. 知っている | 95 人  |
| 2. 知らない  | 89 人  |
| 無回答      | 1 人   |
| 合 計      | 185 人 |



「1. 知っている」(95 人)と答えた方が「2. 知らない」(89 人)と答えた方を上回り、わずかに半分を上回る方が知っているという結果となっています。

#### 問 3. 「1. 知っている」と答えた方にお聞きします。市制施行 90 周年をどのように知りましたか？（複数選択）

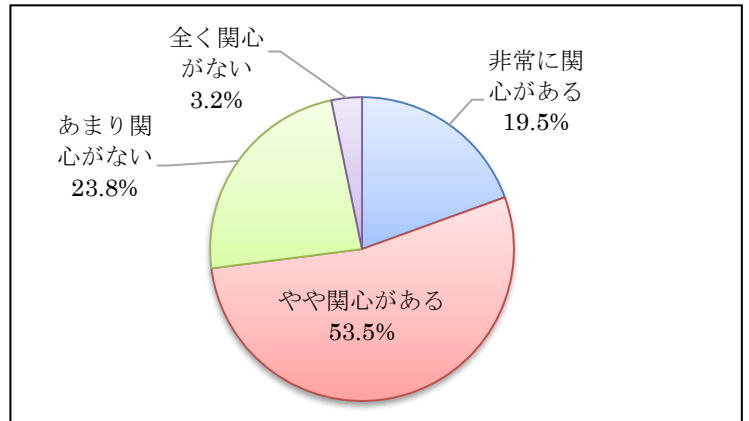
|                    |      |
|--------------------|------|
| 1. 市政だより           | 66 人 |
| 2. 市ホームページ         | 21 人 |
| 3. SNS (X、LINE など) | 19 人 |
| 4. その他             | 22 人 |



令和 9 年が市制施行 90 周年であることを知った情報媒体として最も多くあげられたのは、「1. 市政だより」(66 人)という結果となっています。

問 4. 市制施行 90 周年を迎えることについて、どの程度関心がありますか。（1つ選択）

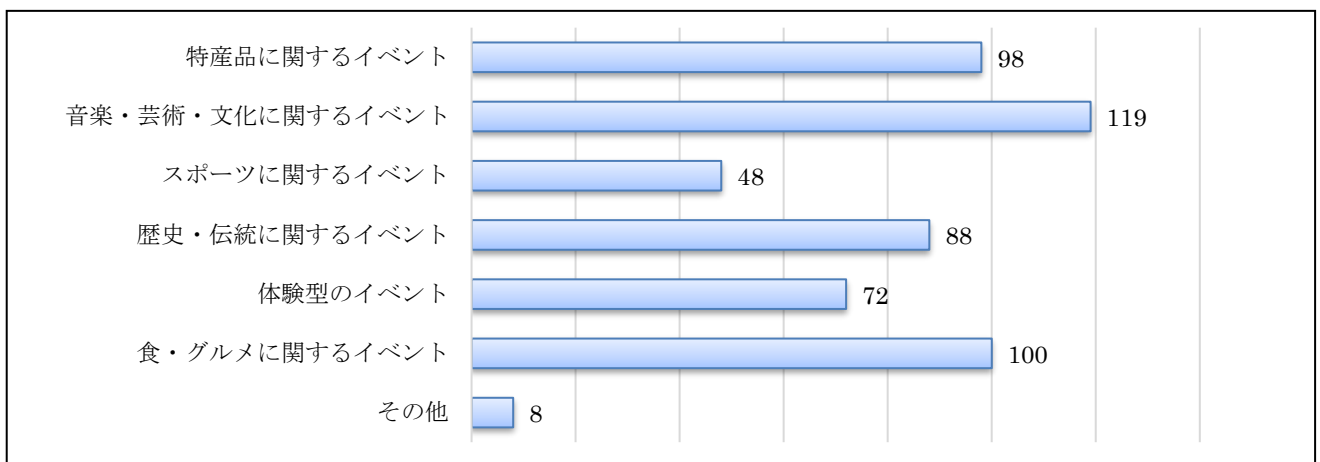
|             |       |
|-------------|-------|
| 1. 非常に関心がある | 36 人  |
| 2. やや関心がある  | 99 人  |
| 3. あまり関心がない | 44 人  |
| 4. 全く関心がない  | 6 人   |
| 無回答         | 0 人   |
| 合 計         | 185 人 |



「2. やや関心がある」（99 人）と答えた方が 53.5%で最も多く、「1. 非常に関心がある」（36 人）の 19.5%と合わせると 73%の方が関心をお持ちだという結果となりました。

問 5. 市制施行 90 周年記念事業について、どのようなジャンルのイベント・事業があれば参加してみたいですか？（複数選択）

|                     |       |
|---------------------|-------|
| 1. 特産品に関するイベント      | 98 人  |
| 2. 音楽・芸術・文化に関するイベント | 119 人 |
| 3. スポーツに関するイベント     | 48 人  |
| 4. 歴史・伝統に関するイベント    | 88 人  |
| 5. 体験型のイベント         | 72 人  |
| 6. 食・グルメに関するイベント    | 100 人 |
| 7. その他              | 8 人   |



市制施行 90 周年記念事業で参加したいイベント・事業については、「音楽・芸術・文化に関するイベント」（119 人）が最も多く、次いで「食・グルメに関するイベント」（100 人）、「特産品に関するイベント」（98 人）となりました。また、「歴史・伝統に関するイベント」（88 人）や「体験型のイベント」（72 人）にも一定の回答が寄せられており、市民は地域の魅力や歴史・文化を身近に感じられる企画への関心が高いことがうかがえます。今後の記念事業においては、文化芸術、食、特産品、歴史を活かした市民参加型のイベントを展開

することで、多くの市民の参加につながることを期待されます。

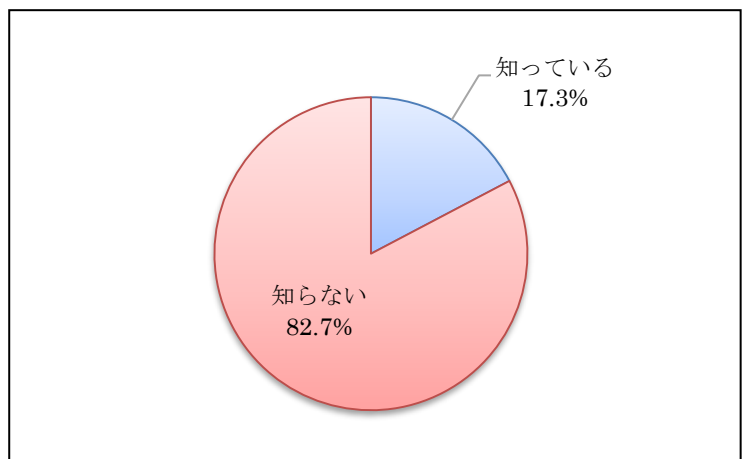
問6. 問5で「7. その他」と答えた方にお聞きします。どのようなジャンルのイベント・事業があれば参加したいかご意見をお聞かせください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・ブルーインパルス（老若男女が楽しめて、心に残るから）
- ・高橋尚子さんの「Q クリニック」（あかがねマラソンも恒例となり、ランニング教室があればもっと市民の関心と参加が高まると思ったから）
- ・太鼓台
- ・新居浜に地縁のある音楽家のコンサート
- ・新居浜市の過去、現在、未来について市民が新居浜市をよりよく理解し、将来の新居浜市像を実感できるようなイベントを是非開催して欲しい
- ・一時的なイベントだけではなく、100周年やさらにその先につながるように様々な世代の男女が参加して新居浜の歴史と未来を語り合う機会をメインにすれば良いと考えています。またそれらをまとめた冊子を編集して、「豊かで住みやすい新居浜」を市内外に発信することで地域の次の発展につながると思います
- ・ふるさと納税で市制施行 90 周年企画を催したら、市民は参加できないが、日本全国に市の魅力を発信できるのではないかな
- ・歌舞伎やオーケストラなどの大都市に行かないと鑑賞できない文化、芸能の催しや大相撲などの地方産業などがあれば参加したい

問7. 市制施行 90 周年を迎えるにあたり、市民の皆さまにも投票にご参加いただき、テーマを「ともに歩む、ともに描く。にいはま — つないだ 90 年、ひらく 100 年 —」に決定しました。このテーマに決定したことを知っていますか？（1つ選択）【必須】

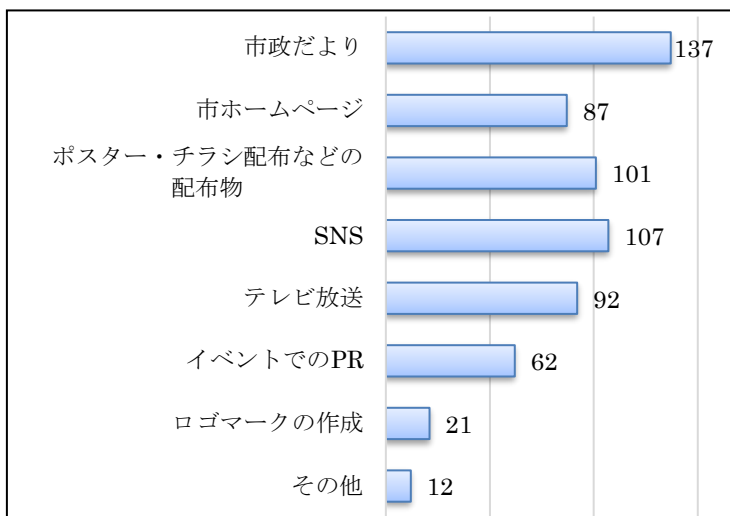
|          |       |
|----------|-------|
| 1. 知っている | 32 人  |
| 2. 知らない  | 153 人 |
| 無回答      | 0 人   |
| 合 計      | 185 人 |



市制施行 90 周年記念テーマ「ともに歩む、ともに描く。にいはま — つないだ 90 年、ひらく 100 年 —」の認知度については、「知っている」が 32 人（17.3%）であったのに対し、「知らない」が 153 人（82.7%）となり、テーマの認知度は低い結果となりました。90 周年そのものへの関心が 73.0%と高かったことから、関心とテーマ認知との間にギャップがあることがうかがえます。今後は、テーマに込められた想いや市民投票により決定した経緯を含めて積極的に情報発信を行うことで、市民の理解や共感を深め、記念事業への参加意識の向上につなげていくことが重要であると考えられます。

問 8. あなたが、市制施行 90 周年事業などの周知方法として有効だと思うものは何ですか。(複数選択)

|                     |       |
|---------------------|-------|
| 1. 市政だより            | 137 人 |
| 2. 市ホームページ          | 87 人  |
| 3. ポスター・チラシ配布などの配布物 | 101 人 |
| 4. SNS              | 107 人 |
| 5. テレビ放送            | 92 人  |
| 6. イベントでの PR        | 62 人  |
| 7. ロゴマークの作成         | 21 人  |
| 8. その他              | 12 人  |



市制施行 90 周年事業の周知方法については、「市政だより」(137 人) が最も多く、次いで「SNS」(107 人)、「ポスター・チラシ配布などの配布物」(101 人)、「テレビ放送」(92 人)、「市ホームページ」(87 人) となりました。このことから、市民は市政だよりなどの従来型の広報媒体に加え、SNS を活用した情報発信にも高い効果を期待していることがうかがえます。また、前問では 90 周年記念テーマの認知度が 17.3%にとどまっていたことから、今後は市政だよりを中心に、SNS、ホームページ、ポスター・チラシなど複数の媒体を組み合わせた効果的な広報活動を展開することで、市民への認知度向上と記念事業への参加促進につなげていくことが重要であると考えられます。

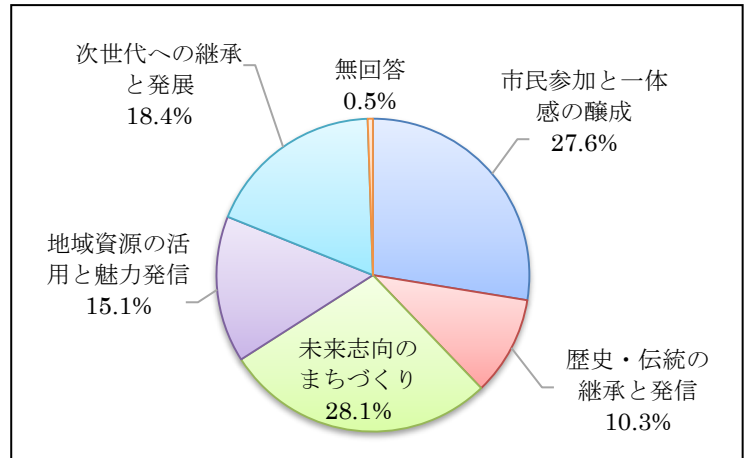
問 9. 問 8 で「8. その他」と答えた方にお聞きします。有効だと思う周知方法についてご意見をお聞かせください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・各学校や市役所等の公共の建物に垂れ幕をして子どもから大人まで新居浜市民みんなに周知できたらいいなと思います
- ・興味のあるイベントの開催
- ・フリーペーパー (同意見 2 件)
- ・市内サイネージ
- ・イオンなど、人の集まる場所でのポスター掲示
- ・AM.FM ラジオの朝と夕方。車で聞いている方も比較的いるのでは
- ・インスタ

問 10. 市は、今年度から記念事業期間として市制施行 90 周年記念事業（プレ事業）を行います。記念事業の実施にあたりどのようなことを最も重視してほしいと考えますか？（1つ選択）【必須】

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 1. 市民参加と一体感の醸成  | 51 人  |
| 2. 歴史・伝統の継承と発信  | 19 人  |
| 3. 未来志向のまちづくり   | 52 人  |
| 4. 地域資源の活用と魅力発信 | 28 人  |
| 5. 次世代への継承と発展   | 34 人  |
| 無回答             | 1 人   |
| 合 計             | 185 人 |

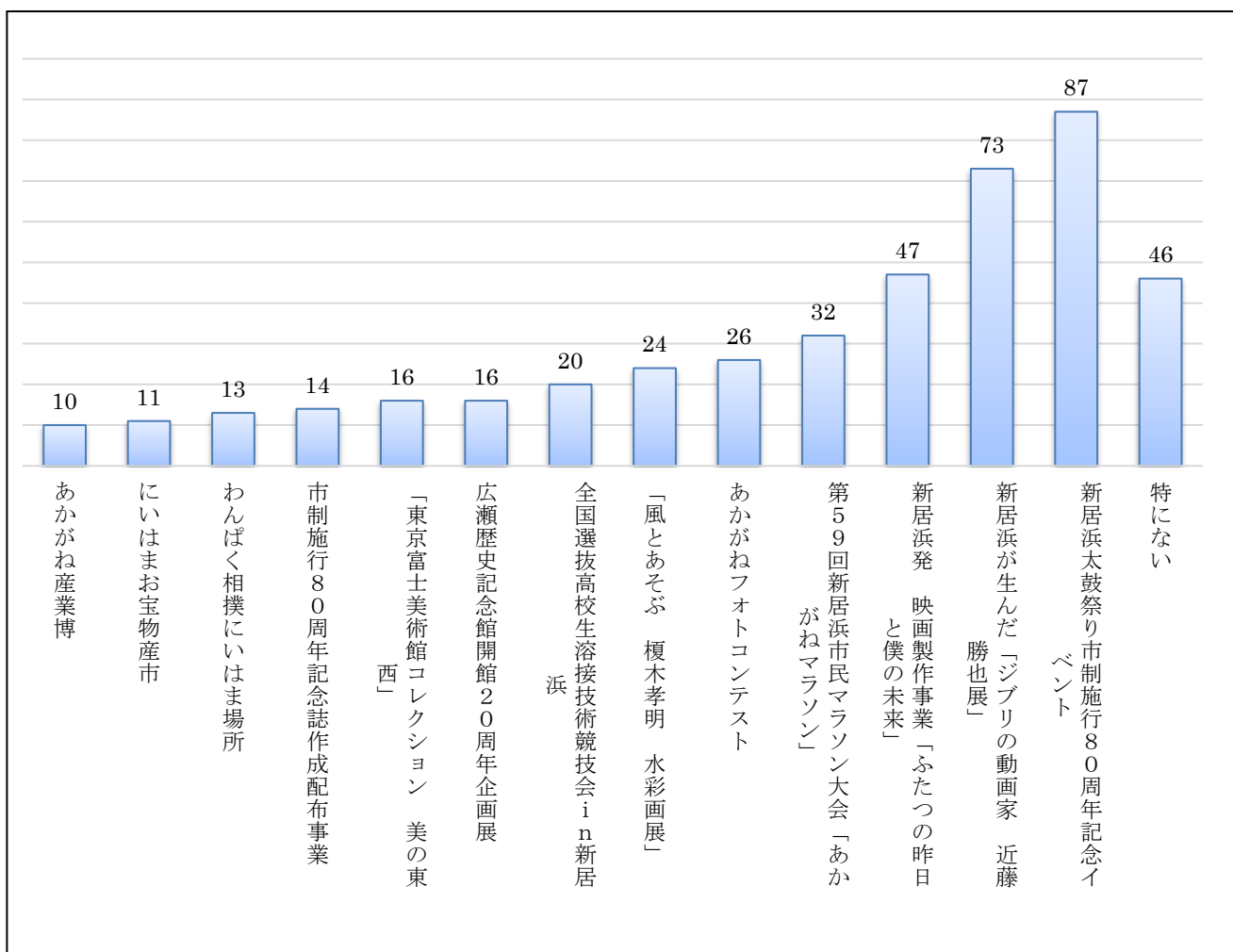


市制施行 90 周年記念事業（プレ事業）で重視してほしいことについては、「未来志向のまちづくり」（28.1%）と「市民参加と一体感の醸成」（27.6%）がほぼ同数で多く選ばれており、次いで「次世代への継承と発展」（18.4%）となりました。このことから、市民は 90 周年を節目として振り返るだけでなく、将来のまちづくりや次世代につながる取組を期待していることがうかがえます。また、市民同士のつながりや地域への愛着を深める機会としての役割も求められていると考えられます。

問 11. 市制施行 80 周年記念事業の中で、特に記憶に残っている事業はありますか。（複数選択）【必須】

回答ありがとうございました。本報告では 10 人以上の方に選択された事業をご紹介します。

|                                 |      |
|---------------------------------|------|
| 18. あかがね産業博                     | 10 人 |
| 15. にいはまお宝物産市                   | 11 人 |
| 3. わんぱく相撲にいはま場所                 | 13 人 |
| 12. 市制施行 80 周年記念誌作成配布事業         | 14 人 |
| 1. 「東京富士美術館コレクション 美の東西」         | 16 人 |
| 11. 広瀬歴史記念館開館 20 周年企画展          | 16 人 |
| 7. 全国選抜高校生溶接技術競技会 i n 新居浜       | 20 人 |
| 2. 「風とあそぶ 榎木孝明 水彩画展」            | 24 人 |
| 4. あかがねフォトコンテスト                 | 26 人 |
| 17. 第 59 回新居浜市民マラソン大会「あかがねマラソン」 | 32 人 |
| 19. 新居浜発 映画製作事業「ふたつの昨日と僕の未来」    | 47 人 |
| 6. 新居浜が生んだ「ジブリの動画家 近藤勝也展」       | 73 人 |
| 10. 新居浜太鼓祭り市制施行 80 周年記念イベント     | 87 人 |
| 21. 特になし                        | 46 人 |



市制施行80周年記念事業の中で印象に残っているものについては、「新居浜太鼓祭り市制施行80周年記念イベント」(87人)が最も多く、次いで「新居浜が生んだ『ジブリの動画家 近藤勝也展』」(73人)、「新居浜発 映画製作事業『ふたつの昨日と僕の未来』」(47人)となりました。このことから、市民の印象に残る事業は、新居浜らしさを活かしたイベントや文化・芸術性の高い事業であることがうかがえます。一方で、「特にな

問12. 市民の皆様と市が一体となって市制施行90周年を盛り上げるためには、どのような取組があればよいと思いますか。ご意見をお聞かせください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

#### 市民参加・世代間交流

- ・市民全員を巻き込み思い出作りができる事業
- ・みんなが参加出来るイベント(山根グラウンド、イオンの広場など)
- ・子どもから高齢者まで楽しめるイベント
- ・市民が観客になるのではなく、参加者になる催し
- ・各校区や自治会でも盛り上がるイベント
- ・市民が参加できるフリマや屋台など
- ・市民主体の実行委員会を設置し、市民主体のイベント

### 新居浜太鼓祭りを活かした事業

- ・新居浜太鼓祭り時にイベントをする
- ・80周年の時のような太鼓祭り記念イベントをしてほしい
- ・全太鼓台が参加できるイベント
- ・太鼓打ち体験やかき夫体験、指揮者体験
- ・山根グラウンドでの合同かきくらべ
- ・太鼓祭りの魅力を世界に発信する
- ・太鼓祭りを活用して市内外へ新居浜をPRする

※一方で、「太鼓台を90周年行事に使わないでほしい」「太鼓祭りだけでなく別の取組にも力を入れてほしい」といった意見も見られました

### 音楽・芸術・文化イベント

- ・水樹奈々さんなど有名人を呼ぶ
- ・有名アーティストや著名人を招いたコンサート
- ・老若男女が楽しめる大型音楽フェス
- ・ミュージシャンによるライブイベント
- ・歌舞伎、演劇など一流の人や団体を招いて文化的事業をしてほしい
- ・新居浜ゆかりの音楽家のコンサート

### 歴史・文化・地域資源の活用

- ・別子銅山というすばらしい歴史・産業遺産があるので、上手に90周年とアピールできたら良いと思う
- ・新居浜市の歴史に注目し、別子銅山の歴史をめぐるイベントの開催
- ・どのようにして新居浜市になったのかを振り返る展示
- ・住友別子銅山の歴史を学べる企画展
- ・世代を超えて新居浜の歴史を知ることができるイベント
- ・新居浜に住んでいても知らない地域がたくさんあるので、歴史的・地理的なことをPRしてほしい

### グルメ・物産・マルシェ

- ・企業や飲食店、手作り作家などが参加するマルシェ。参加の際には「90」や「新居浜」にちなんだ目玉商品を企画してもらう。
- ・新居浜市グルメスタンプラリー
- ・フードフェスやキッチンカーイベント
- ・大がかりな物産市の開催
- ・新居浜特産の食材、グルメを強力にPRしてほしい
- ・特産品を使ったクッキングコンテスト

### 子ども・若者向け企画

- ・子どもたちが楽しむ事の出来る行事
- ・未来を担う子どもたちの思い出に残るようなもの
- ・子どもが新居浜に住み続けたいなと思うようなもの
- ・小学校・中学校などとイベントを共同で行う
- ・小中学生・高校生・若者の意見を募って参画してもらう
- ・職業体験やものづくり体験を増やす

### 未来志向・記念事業らしい取組

- ・10年後の自分への手紙を出すイベント

- ・未来へのメッセージ事業
- ・タイムカプセル
- ・これから先の未来を考えるワークショップ
- ・新居浜の歴史と未来を語り合う機会
- ・100周年まで、あと何年というカウントダウン形式にする

#### 体験型イベント・スポーツ

- ・スタンプラリーの開催
- ・新居浜の名所や史跡を巡るスタンプラリー
- ・クイズや謎解きを取り入れたウォークラリー
- ・工場見学やものづくり体験
- ・ボッチャ・モルックなど多世代で楽しめるスポーツ
- ・市民参加型の防災訓練

#### その他・周知・PRの強化について

- ・市政だよりやSNSなどで90周年をアピールしてアイデアを募集する
- ・もっとSNS発信を増やしていく
- ・90周年であることをいろいろな形で市民に周知する
- ・のぼりや小旗、垂れ幕などでPRする
- ・まずは興味のない人達にも周知されることが大事
- ・花火大会や既存の大規模イベントと連携する
- ・新居浜出身で活躍している人の活動紹介
- ・ギネス記録への挑戦
- ・ロゴマーク募集
- ・記念植樹やモニュメント建立
- ・観光施設の無料開放や周遊企画
- ・AIやITを活用した取組
- ・ホテルが住めるような美しい街づくり

### 問13. 市制施行90周年に関する事について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

#### ① 市民が参加でき、記憶に残るイベント

- ・記憶に残る事を希望します
- ・市民が体験できるイベントが沢山あるといいなと思いました（1人・親子・子ども・年配の方など）
- ・子どもも楽しめるイベントがあるとうれしいです
- ・老若男女問わず興味を持って参加、観覧できるイベントや展示会を開催して欲しい
- ・老若男女、転勤族も参加しやすく、交流できるイベントを希望します
- ・新居浜市民全員が関われる事業にしていきたいです
- ・市民の心に残るような素敵な企画を楽しみにしています
- ・住民がわくわくして、参加したいイベントになって欲しい
- ・会場を小分けして中継しながら多くの市民が一度に参加できる何かをできたらいいかなと思います

#### ② 新居浜の歴史・文化・魅力の発信

- ・新居浜市の発展の歴史とこれから未来への展望がわかるものが必要だと思う
- ・市全体の歴史を深く知ってみたいです
- ・別子銅山、塩田、太鼓祭を中心に分り易く、誰にも参加してもらえそうなイベントの開催
- ・天正の陣などの歴史の道を歩く
- ・旧別子から口屋までの歴史の道を歩く
- ・別子銅山周辺を観光開発して祭り以外で観光客を呼べるようにしてはどうでしょうか？
- ・伝統があり、ものづくりのまちである魅力を大いにアピールしてもらいたい

### ③ 音楽・文化・著名人活用

- ・観光大使の水樹奈々さん、新浜レオンさんのライブを開催して欲しい
- ・音楽が好きなのでアーティストを呼んで盛り上げて欲しい
- ・山根公園か市営球場等でライブコンサートしたらどうでしょうか
- ・出身の著名人などのトークやイベント開催もどうかと思います
- ・有名人やスポーツ功労者の講演会を開催
- ・石村嘉成くんの「青いライオン」が非常に良かったと思います
- ・画家の石村さんによる 90 周年記念碑のようなものが駅周辺にあるといいなと思います

### ④ 太鼓祭りに関する意見

#### ー活用を望む意見ー

- ・90 周年では新居浜の全太鼓台が集まってのイベントをして欲しい
- ・50 周年記念の時河川敷に太鼓台を並べたようなのがもう一度見たい
- ・新居浜太鼓祭りををもっと一部の地域だけではなく新居浜全体で宣伝をしてイベントとして盛り上げてほしい

#### ー見直しを求める意見ー

- ・太鼓台を出せば人が集まる・盛りあがるという考えもありきたりで…
- ・太鼓祭り以外でも新居浜の良さがいいなあ
- ・太鼓台に頼らない行事に
- ・太鼓祭りは祭り関係者がしたいだけ。新居浜市民みんなが祭り好きではない

### ⑤ 若者・未来へのまちづくり

- ・県外へ進学しても新居浜へ帰り働きたいと思えるような新居浜になってもらいたいなと思います
- ・若い方が新居浜に移住してきたいような環境づくりをしていることを発信できるような場にもしてほしい
- ・市制施行 100 周年にバトンを繋げられるような企画があるといいと思います

### ⑥ 周遊・地域活性化企画

- ・あかがねポイント大還元祭
- ・あかがねポイントがもらえるスタンプラリー
- ・90 周年お祝いクーポンを配布する
- ・新居浜の銘店を巡るスタンプラリー
- ・別子や大島を巡るスタンプラリー
- ・SNS で新居浜のおすすめスポット（お店、遊んでる所、公園）で撮ったもので集めてモザイクアート製作
- ・楠木中央道路での大型歩行者天国にして出店を出す
- ・食品が高いので安くて新鮮な野菜などを開催して欲しい

- ・弁当フェアなど楽しそうです

#### ⑦ 広報・周知

- ・私はアンケートで 90 周年の事を初めて知ったので、知らない人も沢山いそうだなと思った。
- ・今回、このアンケートに参加させて頂くまで市制施行 90 周年だということを存じ上げませんでした。
- ・広報活動を積極的に行う
- ・YouTube かニコニコ生放送みたいな配信で生放送してほしいです
- ・市政だよりは自治会に入っていないので見ない
- ・SNS で若者へ、テレビで高齢者へ告知できる

#### ⑧ 予算・事業の進め方

- ・財政難と耳にするのであまり無駄に予算を組んでほしくない思いもあります
- ・厳しい財政の中で無理にイベントを実施する必要もないと考えます
- ・予算消化のイベントではなく、持続していける外貨の獲得のための企画を考えてほしいです
- ・お金を無駄遣いしないほしい
- ・節目として記念事業が何かあってもいいとは思いますが、そこで予算をたくさん使うのではなく、日常を充実させる方にお金を使ってほしい
- ・限りある予算の中での取組なので、今ある施設を有効活用し、未来に向けて資源など無駄のない取組を考えてほしい
- ・費用対効果もある程度意識する必要があると思います

#### <まとめ>

このたびのアンケートには、185名の皆様から貴重なご意見を頂戴しました。ご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

今回のアンケート調査は、本市が来年度に市制施行90周年という節目の年を迎えるにあたり、記念事業の実施に向けて、市民の皆様から広くご意見を頂戴することを目的に実施したものです。

寄せられたご意見からは、太鼓台や別子銅山、工業都市としての歴史など、新居浜固有の魅力を活かしつつ、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる、市民一体型の記念事業を期待する声が多く伺えました。

また、市制施行100周年を見据え、未来につながる取組として実施してほしいとのご意見もいただきました。

一方、今回のアンケートでは、市制施行90周年について、さらなる周知が必要であることもうかがえました。今後は、市政だよりを中心に、SNS、ホームページ、チラシなど複数の媒体を組み合わせた情報発信を行い、認知度の向上と記念事業への参加促進につなげてまいります。

市政モニターの皆様におかれましては、引き続き、市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(担当課：総合政策課)

## テーマ② 事故のない楽しい太鼓祭りの実現に向けて

### 【調査趣旨】

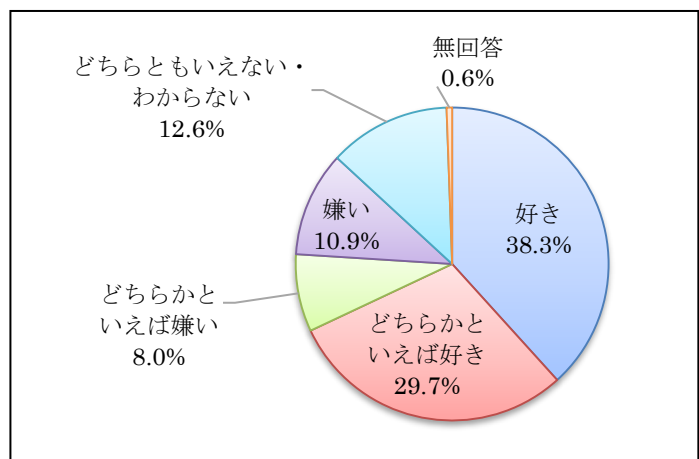
市内太鼓台関係者や関係団体等で組織している新居浜市太鼓祭り推進委員会（事務局：新居浜市観光物産課）では、10月の新居浜太鼓祭りにおいて、太鼓同士の鉢合わせ（喧嘩）が発生している現状を踏まえ、毎年事故の無い楽しい秋祭り実現に向けた方策について検討を行っています。しかしながら、新居浜太鼓祭りは、各地区自治会や神社等が関係する祭礼行事であることから、政教分離により市は祭りや太鼓台そのものの運営に関与することができず、対応に苦慮しているのが現状です。そこで、今回のアンケートにより、太鼓台の鉢合わせ（喧嘩）等、新居浜太鼓祭りの平和運行について、新居浜市民の皆さんの意識や意見をお伺いし、事故のない楽しい秋祭りの実現に向けた方策の更なる検討に活かしてまいりたいと考えています。

（担当課：観光物産課）

（※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略）

問2. あなたは、新居浜太鼓祭り（秋祭り）が好きですか？次のうち、最も当てはまるものを1つだけお選びください。（1つ選択）【必須】

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 1. 好き              | 67 人  |
| 2. どちらかといえば好き      | 52 人  |
| 3. どちらかといえば嫌い      | 14 人  |
| 4. 嫌い              | 19 人  |
| 5. どちらともいえない・わからない | 22 人  |
| 無回答                | 1 人   |
| 合 計                | 175 人 |



「1. 好き」(67人)が最も多く、次いで「2. どちらかといえば好き」(52人)となっており、『好き』『どちらかといえば好き』を合わせると119人(68.0%)となりました。一方、『どちらかといえば嫌い』『嫌い』は合わせて33人(18.9%)、「どちらともいえない・わからない」は22人(12.6%)でした。このことから、新居浜太鼓祭り（秋祭り）に対して好意的な印象を持つ方が全体の約7割を占めており、多くの方に親しまれていることがうかがえる結果となっています。

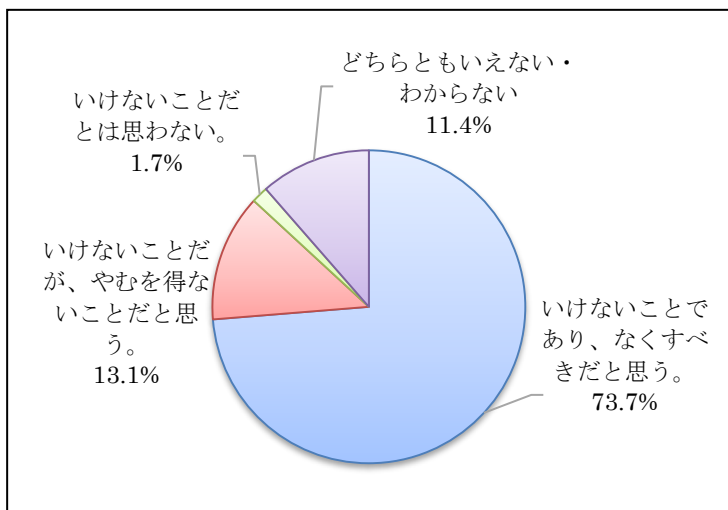


©NPO 法人新居浜まちゅり隊

問3. 太鼓祭りにおける太鼓同士の鉢合わせ（喧嘩）については、「各地区太鼓台運営委員会（協議会）」（注1）の取り決めにより禁止されています。鉢合せ（喧嘩）について、あなたはどの様に感じていますか？（1つ選択）【必須】

（注1）各地区太鼓台運営委員会（協議会）とは…複数の太鼓台にて構成される団体で、各地区祭礼行事の実施主体、現在、市内には、船木、角野、泉川、中萩、川東西部、川東、川西、大生院の8地区があります。

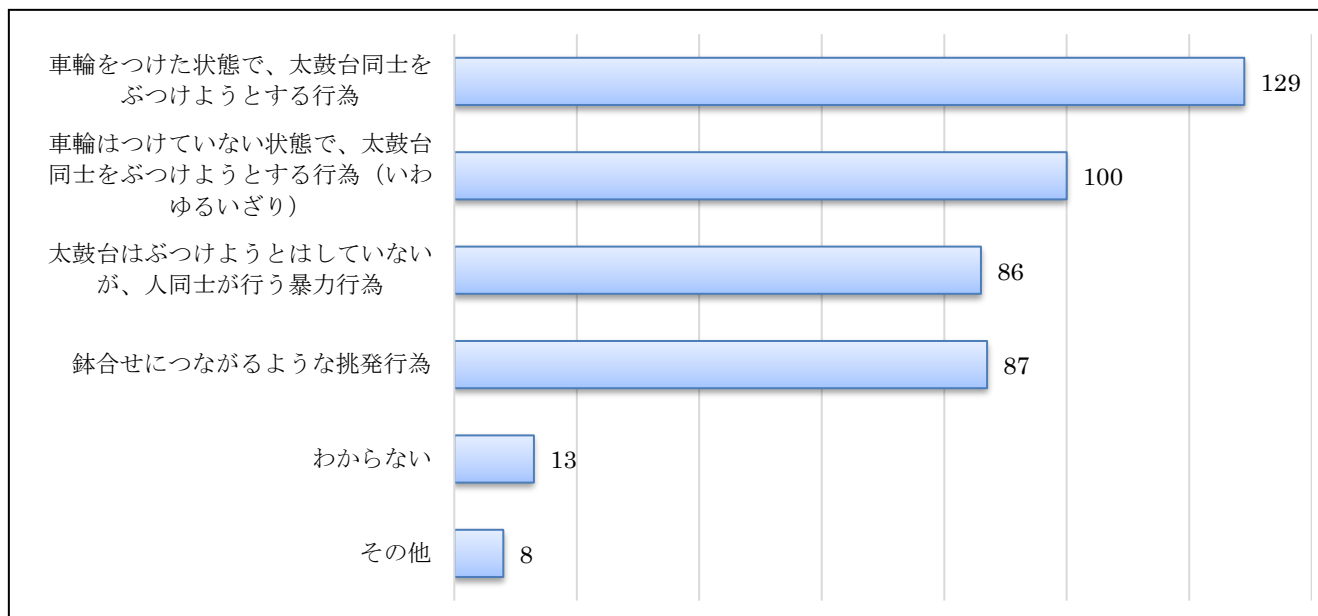
|                           |       |
|---------------------------|-------|
| 1. いけないことであり、なくすべきだと思う。   | 129 人 |
| 2. いけないことだが、やむを得ないことだと思う。 | 23 人  |
| 3. いけないことだとは思わない。         | 3 人   |
| 4. どちらともいえない・わからない        | 20 人  |
| 無回答                       | 0 人   |
| 合 計                       | 175 人 |



「1. いけないことであり、なくすべきだと思う」（129人）が最も多く、全体の73.7%を占めました。次いで、「2. いけないことだが、やむを得ないことだと思う」（23人）が13.1%、「4. どちらともいえない・わからない」（20人）が11.4%となっています。「3. いけないことだとは思わない」と回答した方は3人（1.7%）にとどまりました。このことから、多くの方が太鼓同士の鉢合わせ（喧嘩）を好ましくないものと認識しており、特に「なくすべきだと思う」と考える方が多数を占める結果となっています。

問4. 新居浜太鼓祭りにおける太鼓台同士の鉢合わせ（喧嘩）について、あなたの考える鉢合わせ（喧嘩）の定義とは何ですか？（複数選択）【必須】

|                                           |       |
|-------------------------------------------|-------|
| 1. 車輪をつけた状態で、太鼓台同士をぶつけようとする行為             | 129 人 |
| 2. 車輪はつけていない状態で、太鼓台同士をぶつけようとする行為（いわゆるいざり） | 100 人 |
| 3. 太鼓台はぶつけようとはしていないが、人同士が行う暴力行為           | 86 人  |
| 4. 鉢合せにつながるような挑発行為                        | 87 人  |
| 5. わからない                                  | 13 人  |
| 6. その他                                    | 8 人   |



「1. 車輪をつけた状態で、太鼓台同士をぶつけようとする行為」（129人）が最も多く、次いで「2. 車輪はつけていない状態で、太鼓台同士をぶつけようとする行為（いわゆるいざり）」（100人）となりました。また、「4. 鉢合せにつながるような挑発行為」（87人）、「3. 太鼓台はぶつけようとはしていないが、人同士が行う暴力行為」（86人）も多くの回答を集めています。このことから、回答者の多くは、太鼓台同士を直接ぶつけようとする行為だけでなく、鉢合わせ（喧嘩）につながる挑発行為や人同士による暴力行為についても、鉢合わせ（喧嘩）の一部であると認識していることがうかがえる結果となっています。なお、「5. わからない」は13人、「6. その他」は8人でした。

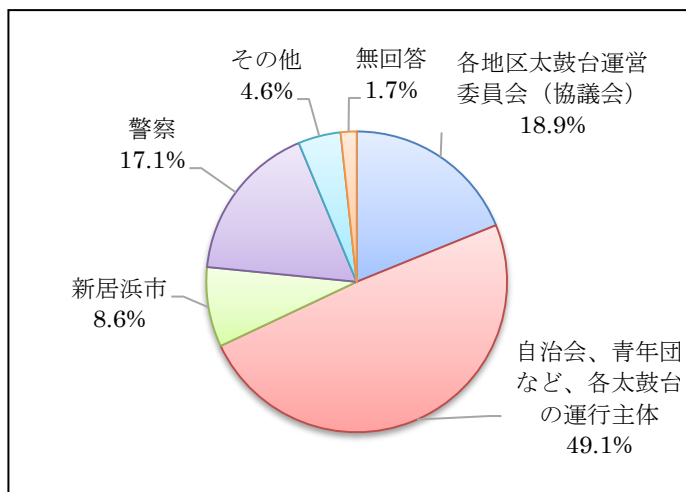
**問5. 問4で「6. その他」と回答された方にお伺いします。あなたの考える鉢合わせ（喧嘩）とはどのような行為ですか？自由に記入してください。（自由記入）**

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・観衆がカメラを向けている際に現状を運行責任者が堂々とLIVEで説明できない状況下は全て喧嘩。つまり、差し上げなどで観衆が「今何をしていますか？」と質問したとして答えられるのはセーフ。Q4.1 車輪をつけた状態で、太鼓台同士をぶつけようとする行為で観衆がカメラを向けて同じ問い「今何をしていますか？」に対して、何故車輪を付けたのか、なぜぶつけようとしているのか？それらが真っ当な意見で説明できるのであれば喧嘩ではないと判断できると考えます。
- ・チェーンソーで太鼓台を破壊したり、止まっている車を太鼓台で破壊したり
- ・寄付金で作られた、地域一帯の誇りでもあろう、高価な太鼓台を破壊しようとする行為全て
- ・挑発行為
- ・相手太鼓台に弱いコールなどダサい言葉で罵る行為
- ・毎年のようにニュースになる昨今の鉢合わせは、一部の、祭りの時だけ集まるいわゆるよそ者が喧嘩したいだけでやっているもののようだ。本来の、祭りで多少気が大きくなっていたり少し酒が入っている状態で道を譲って譲らないなどから起こる喧嘩とは違う様相になっている。これを鉢合わせと呼んでいいとは思わない。

問6. 鉢合せ（喧嘩）を防止するため、市内の各団体等で色々な方策を実施しています。あなたは、次の各団体のうち、鉢合せ（喧嘩）防止のため、主に取り組む必要があるのはどこだと思いますか？（1つ選択）【必須】

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 1. 各地区太鼓台運営委員会（協議会）    | 33 人  |
| 2. 自治会、青年団など、各太鼓台の運行主体 | 86 人  |
| 3. 新居浜市                | 15 人  |
| 4. 警察                  | 30 人  |
| 5. その他                 | 8 人   |
| 無回答                    | 3 人   |
| 合 計                    | 175 人 |



「2. 自治会、青年団など、各太鼓台の運行主体」（86 人）が最も多く、全体の 49.1%を占めました。次いで、「1. 各地区太鼓台運営委員会（協議会）」（33 人）が 18.9%、「4. 警察」（30 人）が 17.1%となっています。一方、「3. 新居浜市」は 15 人（8.6%）、「5. その他」は 8 人（4.6%）でした。このことから、回答者の多くは、鉢合せ（喧嘩）防止に向けては行政や警察よりも、自治会や青年団などの各太鼓台の運行主体が中心となって取り組む必要があると考えていることがうかがえる結果となっています。なお、「無回答」は 3 人（1.7%）でした。

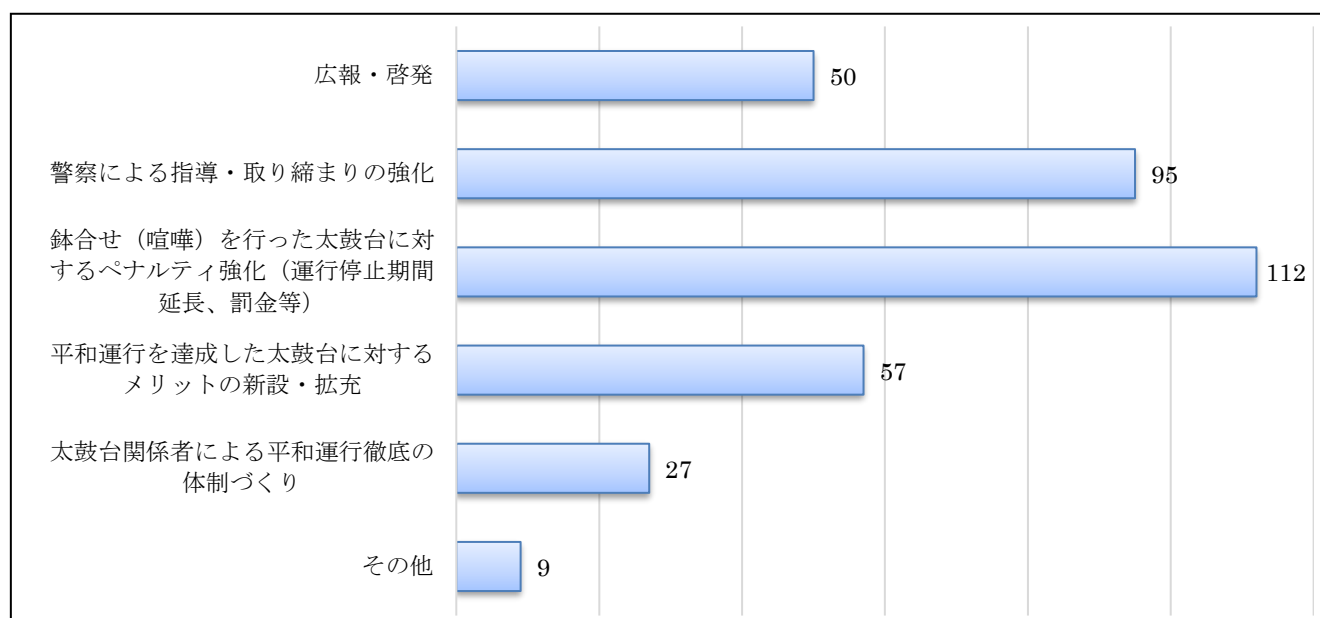
問7. 問6で「5. その他」と回答された方にお伺いします。具体的に、鉢合わせ防止のため、取り組む必要がある主体（団体）を自由に記入してください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・どの団体も協力しないと無理だと感じている
- ・鉢合せを防止するため、各団体どれか一つが主に取り組むという考えはちがうと思います。各団体が連携して情報を共有し、軌道修正すべきかなと思います
- ・1 から 4 のすべてが対応すべきことだと思います
- ・各青年団やかき夫に周知徹底
- ・各地区の運営委員会はもちろんのこと、何重にも防止のためには抑止していく必要があるのではと思う。最後は警察だとは思いますが。お祭りで逮捕者が出るなんて最低。せっかく観光客の方も見に来てくれて、地域の特産物にも目を向けてくださることができるのに。地域活性化につながらない。何重にも抑止がいい。

問8．あなたは、太鼓台同士の鉢合せ（喧嘩）をなくすため、どの様な方策に力を入れるべきだと思いますか？当てはまるものを全てお選びください。（複数選択）【必須】

|                                           |       |
|-------------------------------------------|-------|
| 1．広報・啓発                                   | 50 人  |
| 2．警察による指導・取り締まりの強化                        | 95 人  |
| 3．鉢合せ（喧嘩）を行った太鼓台に対するペナルティ強化（運行停止期間延長、罰金等） | 112 人 |
| 4．平和運行を達成した太鼓台に対するメリットの新設・拡充              | 57 人  |
| 5．太鼓台関係者による平和運行徹底の体制づくり                   | 27 人  |
| 6．その他                                     | 9 人   |



「3．鉢合せ（喧嘩）を行った太鼓台に対するペナルティ強化（運行停止期間延長、罰金等）」（112人）が最も多く、次いで「2．警察による指導・取り締まりの強化」（95人）となりました。また、「4．平和運行を達成した太鼓台に対するメリットの新設・拡充」（57人）や「1．広報・啓発」（50人）にも一定数の回答が寄せられています。一方、「5．太鼓台関係者による平和運行徹底の体制づくり」は27人、「6．その他」は9人でした。このことから、回答者は鉢合せ（喧嘩）の防止に向けて、啓発活動やインセンティブの付与よりも、警察による指導・取り締まりの強化や、違反した太鼓台に対するペナルティの強化といった抑止効果の高い方策を重視していることがうかがえる結果となっています。

問9. 問8で「6. その他」と回答された方にお伺いします。具体的に、どのような方策に力を入れるべきだと思いますか？自由に記入してください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

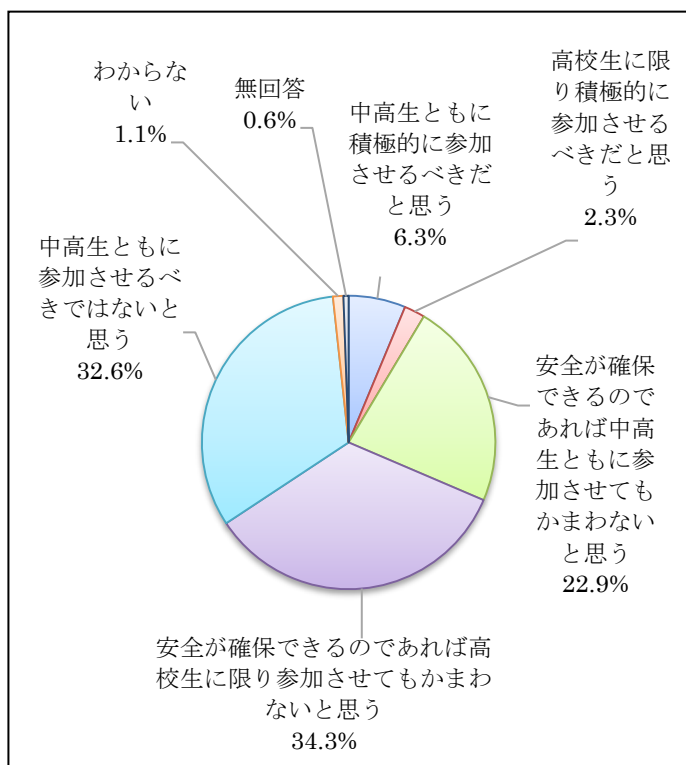
- いくら罰則を強化しても、所属している運営委員会を脱会し、新たな運営委員会を設立してルールを変える事例があります（過去には阿島・松神子の鉢合わせ後、松神子・又野・下郷の3地区で新たな運営委員会を設立）。そのため、現状の運営委員会からの脱会を禁止してはどうでしょうか。また、脱会して新たな委員会を立ち上げた場合は、統一行動へ参加させないなどのペナルティが必要だと思います。さらに、鉢合わせをした際は1年間の出場停止よりも、2年間の統一行動参加禁止（自部落のみ運行可能、統一行動は不可）の方が効果的ではないでしょうか。出場停止にしてしまうと、一部の人の行為によって地域の人が地元の太鼓台を見ることができなくなってしまいます。暴れる人にとっては、統一行動に参加できない方が効果があると思います。
- 川西地区などは山根グラウンドのような広い場所がなく、披露する機会が少ないために鉢合わせへ向かうのではないのでしょうか（鉢合わせで発散している面もあるのではないかと思います）
- 3で回答しましたが、中須賀と大江の喧嘩では、中須賀は二輪ありで行ったにもかかわらず出場停止1年だったと聞きました。本来、川西地区では二輪は2年と決めていたはずですが、決め事があってもルールが守られないのであれば、真面目に運行している太鼓台に示しがつきません。いつかの大江の件も同様です。ペナルティはペナルティとして適正に対応していただきたいと思います。また、協議会の長には喧嘩をする太鼓台の関係者を就けるべきではないと思います。
- 広報や市長があれだけ呼び掛けているにもかかわらず鉢合わせをする太鼓台については、永久追放にすれば行わなくなると思います。現在のペナルティは軽すぎます。また、運営補助金も停止し、管轄している地区運営団体にも責任を負わせるべきだと思います。
- ペナルティが緩すぎます。無期限停止が妥当だと考えます。また、かき夫については、自治会所属の人員が80%を切るような太鼓台は参加不可としてよいと思います。
- その地区の太鼓台が喧嘩をした場合は、連帯責任として、かき夫全員から罰金を徴収してはどうでしょうか。
- 昨年、住友グループが関与した者のいる会社との取引停止という内容があったと思いますが、そのくらいインパクトの強い罰則が必要だと思います。
- 各自治会の青年団が部外者をかき夫として採用しないことが重要だと思います。また、川東地区のように氏名入りの腕章を着用させるなど、かき夫を厳格に管理し、喧嘩になった際は個人にも責任を負わせることで自覚を促すべきだと思います。
- 近年は鉢合わせというより、人同士の喧嘩が多いように感じます。関係者については今後どの太鼓台も担げないようにしたり、太鼓台についても永久解体にするなど、厳しい対応をしないとなくなってしまうと思います。大江や中須賀が主に喧嘩をしています、その影響で他の川西地区の安全運行をしている太鼓台まで悪く見られることが残念です。別件ですが、普段は取り締まるのに、祭り期間中だけトラックに大勢が乗っていてもよいのはなぜでしょうか。細かな部分から取り締まりを行わなければ、良い祭りにはならないと思います。
- 太鼓台をぶつけ合いたいのであれば、そのための機会を設ければよいと思います。宇和島の闘牛のように飾り幕を外した状態でぶつけ合い、かき棒を折る競技としてルール化してはどうでしょうか。太鼓台1台当たりの人数制限を設け、闘技場のような施設で各地区による試合形式で実施します。年間を通じて試合を行い、各地区代表による新居浜チャンピオンを決定する仕組みです。試合中に負傷者が出たり、人同士の喧嘩があった場合は失格とします。ルール化した「喧嘩太鼓」をイベント化し、新たな新居浜

名物としてはどうでしょうか。

- ・子どもの頃からの教育が必要だと思います
- ・太鼓台関係者による平和運行徹底の体制づくりに投票した理由です。警察の取り締まりは十分だと思います。ペナルティがあっても川西・川東地区では毎年のように喧嘩が発生しているため、あまり効果がないように感じます。また、逮捕者が出ると全国ニュースで報道され、新居浜市のイメージ低下につながります。メリット制度の新設もコストが掛かりますし、喧嘩をしたい地区はメリットがあっても行うと思います。
- ・上部地区、特に山根公園で目立った喧嘩がないのは、各地区に喧嘩をしようという意識がなく、観客も勇壮華麗な太鼓台を期待して集まっているためだと思います。
- ・太鼓祭りは地区の氏神に五穀豊穡を願う祭りです。喧嘩が多発するのであれば、統一運行は取りやめ、それぞれの地区内だけで運行すればよいと思います。観光向けの太鼓祭りについては、平和運行ができていない山根公園だけで十分だと思います。

問 10. かき夫確保や伝統文化の継承のため、市内の中高校生もかき夫として参加できるようにすべきだという意見があります。あなたは、中高生のかき夫参加についてどう思いますか？最も当てはまるものを1つだけお選びください。（1つ選択）【必須】

|                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 中高生ともに積極的に参加させるべきだと思う             | 11 人  |
| 2. 高校生に限り積極的に参加させるべきだと思う             | 4 人   |
| 3. 安全が確保できるのであれば中高生ともに参加させてもかまわないと思う | 40 人  |
| 4. 安全が確保できるのであれば高校生に限り参加させてもかまわないと思う | 60 人  |
| 5. 中高生ともに参加させるべきではないと思う              | 57 人  |
| 6. わからない                             | 2 人   |
| 無回答                                  | 1 人   |
| 合 計                                  | 175 人 |



「4. 安全が確保できるのであれば高校生に限り参加させてもかまわないと思う」(60 人) が最も多く、次いで「5. 中高生ともに参加させるべきではないと思う」(57 人)、「3. 安全が確保できるのであれば中高生ともに参加させてもかまわないと思う」(40 人) となりました。一方で、「1. 中高生ともに積極的に参加させるべきだと思う」は 11 人、「2. 高校生に限り積極的に参加させるべきだと思う」は 4 人にとどまりました。このことから、回答者の多くは中高生のかき夫参加について、積極的な参加推進よりも安全確保を前提として判断すべきと考えていることがうかがえます。また、中高生ともに参加させるべきではないと考える方も一定数存在しており、安全面への懸念が大きいことがうかがえる結果と

なっています。なお、「6. わからない」は2人、「無回答」は1人でした。

**問11. その他、太鼓祭りにおける太鼓台の鉢合わせ（喧嘩）に関して、ご意見がございましたら自由に記入してください。（自由記入）**

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

**【鉢合わせ（喧嘩）の風潮・観客意識】**

- ・お祭り大好き家族です。鉢合わせは、これまでどれだけ禁止しても、もうどうしようもないと思います。昔からけんか DVD も販売していますし、これも含みのけんかしている人は市外から来てしているとも聞きます。まつりだと思っています。
- ・観客側にも喧嘩を容認、或いは楽しみにしているような雰囲気があることは否めないように思います。地域性もあるかも知れませんが見る側の意識を変えることも必要だと思います。また、上から言われるのではなく、太鼓台の運営主体である人たちが喧嘩は絶対に避けるという意識を持たないと同じことの繰り返しになると思います。少子高齢化で担き夫不足が深刻化するなか、この祭りをこれから長く維持するためには横のつながり（青年団同志などの）や協働が必要ではないかと思います。喧嘩をしている場合ではないのでは？
- ・太鼓台の鉢合わせを期待しているような、観客の意識も変えなければならないと思う
- ・見物している観客のヤジなどであおられる場合がみられる。一般かき夫、その太鼓台の町内会の人達は止めさせられないものか？ケンカを華だと思っているのは時代錯誤です。観客マナーを守りたいものです。
- ・見学者が鉢合わせを期待している風潮がある

**【厳罰化・ペナルティ強化】**

- ・死人やけが人が出る野蛮な鉢合わせは絶対に禁止すべきです。実行した地区には罰金3年間の出場停止をするべきです。平和運行の地区には報酬金を出すと、鉢合わせは少なくなるかな。
- ・鉢合わせを行った、太鼓台に対しての処分を厳しい処分にするべきだ。鉢合わせをした太鼓台の人も、永久に太鼓台をかき夫として出来ないようにするべきです。
- ・太鼓台は本来、自治会などの財産であるのに、青年団や一部の運行集団に私物化されている。個人の喧嘩なのに太鼓台が利用されているように思う。また、罰則もいかげんな地区もある。上部地区は、厳しいルールのもとしっかりと守られているが、特に川西地区はいろいろと理由をつけて穏便に済ませているように感じる。複数年の出場停止にし、厳格に守らせ厳格に実行することが必要であると思う。
- ・鉢合わせやいざりをした太鼓台に対しての罪が甘すぎる。5年や10年の運行停止や罪金を増やしてでも鉢合わせする太鼓台はすると思うけど、真面目に運行している太鼓台がかわいそうにしか思えない。今の状態の祭りを本気で観光の一環として誘致している関係所にも疑問がある。
- ・今後も鉢合わせがなくなるとは思えない。なぜなら太鼓台を保護する横俵用短管（パイプ）台場を守るよろい（鉄板）等が取り付けられているからだと思う。このような保護部材には、罰金額を決める必要有り（横俵用短管：50万円、台場用鉄板：150万円）このように罰金額を取り決めれば多少鉢合わせが減少すると思われる。また、保護部材がなければ鉢合わせによる破損被害も大きくなり自粛するのでは？
- ・ペナルティが甘すぎるから何度でも同じことが起こると思う。もっと厳しいペナルティを科すべき。
- ・鉢合わせ、喧嘩などがあれば、来年のお祭りを中止する、くらい強く言わないと同じことの繰り返しだと思う
- ・鉢合わせした地区は5年間出場停止

### 【中高生の参加について】

- かき夫登録していない人が問題を起こしたり、飲酒で人にからんだり、一人ひとりの目覚ではないのかな？と思います。中学生に参加や中高生が参加の気持ちは十分わかりますが、ルールを守らない成人が多数いる中で中学生はまだ子どもです。学生です。残念な行動をする成人と共に、祭りに参加するのは、心も体もキケンではと思います。
- 鉢合わせや喧嘩を全体でやめない限り、中高生の参加は、させるべきではないと思う。伝統の継承をさせたいのであれば、鉢合わせや喧嘩はやめるべきだと思う。

### 【安全対策・事故防止】

- 毎年けがをされる方がいらっやって安心して観られる祭りではないので、子どもに見せることができなくなっています。自分の子が大きくなって参加したいと言ってきたときに地元の太鼓を「行っておいで」と快く送り出してあげられる祭りにしてほしいです。
- 太鼓台の鉢合わせはよくないし、ケガもあると思います。それと、昨年一昨年と太鼓祭りで亡くなった方がいます。何故楽しい祭りで亡くなる方がいるのか？いつもそう思います。
- 太鼓台の鉢合わせだけでなく運行中の事故も多いと思います。太鼓台の重量と長さに何人もの人達が係るため勢いが付けば急に止められず人の声が聞こえない又道路も狭い場所が多く挟まれて事故に繋がる危険な所が多いと思われます。家族が一番心配されます。

### 【意識改革・平和運行】

- 喧嘩する地域が限られているように感じます。人同士の意識改革が必要ではと思っています。未来のある子ども達に与える影響も加味して話し合ってほしいと思います。
- 子どもの頃からの教育
- 喧嘩は太鼓台でぶつけ合いをすることで豊作などを願っていたと思います。人と人同士の怒りや恨みの喧嘩とは切りはなして捉える様にかき夫への周知が大事だと思います。

### 【人同士の喧嘩・暴力行為】

- 太鼓台同士の喧嘩は仕方ない部分もあると思うが、特に 2008 年頃から太鼓台ではなく人間だけが動いてをする見苦しい祭りになっている。もう知らない人の方が多いと思うが太鼓台の喧嘩にもルールがあり、それで終了する。引きあげると私は教えてもらっていた。今はそのルールも無視、祭りを利用しての「うさばらし」は絶対にやらせない様にしないとイケない。今年から運営委員会とは別に喧嘩をさせない組織をつくると聞いている。うまく機能すれば問題解決になると思うがその人選は非常にむずかしいだろう。
- 近年は鉢合せというより、人同士の喧嘩が多いように感じます。その人は今後どの太鼓台もかけないようにしたり、太鼓台は永久に解体したりするなど厳しくしないとなくなってしまうと思います。
- 以前は大好きな太鼓祭りでしたが、最近の喧嘩は以前とは明らかに違い、人と人の喧嘩が見るに堪えません
- 鉢合わせに伴う暴力行為については、強い違和感を覚えます。現在は、SNS や動画配信サービスにより、祭りの様子が全国・世界中に瞬時に拡散される時代です。暴力的な場面は特にセンセーショナルに切り取られて広まりやすく、「新居浜＝喧嘩祭り＝文化レベルが低い」「新居浜太鼓祭り＝人を殴る祭り」というイメージを持たれてしまうことを、市民として大変恥ずかしく思います。市全体のイメージダウンにつながっていると感じます。一般社会では、人を殴れば暴行や傷害として法的な責任を問われるでしょう。祭りというだけで暴力行為が黙認されるべきではなく、通常の犯罪と同じ基準で適切に対応していただきたいです。

### 【かき夫管理・登録制・外部参加者】

- ・各自治会の青年団が部外者をかき夫として採用しないこと。川東のように名前を入れた腕章を付けさせて厳格にかき夫を管理させ、喧嘩になった時は個人にも責任を取らせるようにすることが自覚を促すと思う。
- ・各地区の太鼓台については、事前登録制として各人に腕章を渡して管理する。登録外の人には警察等と協力して参加させない。
- ・かき夫不足を補うための外部部隊の人選の際は注意が必要であり、市内共通の書類(誓約書)を提出し許可証を与える。
- ・昔から鉢合わせが行われ、それが伝統であり歴史のような地区があるが、時代の変化、悪質性などから今後は平和運行が伝統、となるように変わらなければならない。罰則も必要ではあるが、根本は運営する青年団、壮年部、自治会がはっきりと鉢合わせはしないと断言しないとイケない。かき夫登録 100%、腕章、ハッピー着用必須。どこの誰かわからない者が飛び入りで参加できないようにする。乱入者が発生した場合、運営する者が注意することに身の危険が及ぶ可能性もあるため、警察に介入してもらう。
- ・太鼓台運営者達が暴力団関係者を徹底的に排除をする事。恐れる事が無いようなシステムの確立が必要です。

### 【飲酒・喫煙】

- ・祭りが終わるまで、かき夫は禁酒とする。
- ・一年に一度、新居浜市民が待ちに待った素晴らしい秋祭に何故、事故が起きるのか。第一の原因はお祭だから、お酒が入ることに他ならないと思う。人間は酒が入ると正気を失うことは、飲む人なら誰しも知っている。祭が故に、1年分のストレス解放の為、深酒し絢爛豪華な太鼓台のかき夫として参加し、正気を失った状態で色々な揉め事を発生させている。それが事故につながっていると思う。
- ・取り締まりを徹底的に強化。飲酒する事で気が大きくなって喧嘩をする可能性があるので、太鼓台運行中の飲酒禁止。
- ・祭りはお酒が入るので、興奮しやすい。挑発したりされたりで歯止めもきかない。
- ・祭礼行事であれば何をしてもいいわけではない。平和運行を心がけている人たちが多いのも分かるが、祭礼のことなど考えもせず喧嘩するために集まっている人もいるのではないかと感じる。酒に酔った状態でかいている人もいて、個人的には見苦しく感じる。
- ・飲酒や喫煙者がいるため中学生や高校生は参加して欲しく無いです。また歩きタバコをよく見かけるので全面禁煙にして欲しいです。
- ・祭りの場で飲酒喫煙をする高校生が増えるので、一律禁止にすべき。犯罪に巻き込まれたり、かき上げたときの事故などの問題もあると思う。

### 【新居浜のイメージ・観光への影響】

- ・他の地域にないとても豪華でキレイな太鼓台なので一部の喧嘩ありきの風潮がとてももったいないです。地元は群馬なのですが、太鼓台のような文化はないので見る分にはとてもすごいと思います。地域に誇れる文化だと思うので、良い形でお祭り文化を残してほしいです。
- ・昨今の喧嘩及び喧嘩禁止の影響か、「太鼓祭り」自体が悪いものと市外の人から捉えられていると感じています。喧嘩のニュースの SNS 拡散も影響があると思います。
- ・仕事の転勤で愛媛県内の他市に何年間か住んでいました。職場で秋祭りになると新居浜の人は気性が荒いや怖い所だ、と、言われていました。生まれ育った町がそのように言われるのは悲しいことです。
- ・全国的に危険な祭りとして認識されていることを市議会議員・市長ともに認識して、対策や話し合いをすべきだと思う。

- ・子どもからお年寄りまで楽しめるお祭りがいい。そのためには、太鼓台の鉢合わせや人間同士のケンカで全国ニュースにならないでほしい。
- ・新居浜出身と言うだけで、太鼓祭りのイメージで柄悪いと言われるので、鉢合わせをした太鼓台には10年間の参加禁止、悪質なところには、永久追放などのもっと重い処分が必要だと考えます

#### 【警察・行政・取り締まり】

- ・きちんとした取り締まり、ペナルティーをしてほしい
- ・喧嘩は本当にやめていただきたい。市が責任を取るのも違うと思う。個人同士の何かしらのしがらみで起きていることだとよく聞くし。前もってどこどこが喧嘩するという噂も流れてくるぐらいだから、警察で取り囲むか、なんかしておけば。平和運行とか、当たり前のことをいつまでも言ってるのはずかしくないかな？
- ・地域企業や警察、市が平和運行を訴えても鉢合わせが無くならないのであれば、警察など強制力のある組織に取り締まってもらうしかないと思う。また、太鼓台の場所が地図上で一目で分かるものを高専生が実証していたので、警察と情報共有して有事の際にすぐ駆けつけることのできる環境を整えたりは必要だと思う。祭りの雰囲気壊すことになるかもしれないが、鉢合わせを根絶させるためには太鼓台1台につきパトカーを1台つけるなども必要かもしれません。
- ・喧嘩した太鼓台蔵についてのペナルティを強化する。(参加停止期間を長くする) 全太鼓台毎に審判員を必ず配員して、審判員の指揮下で運営し、喧嘩をする状況が発生しそうになった時に審判員が停止命令が出せる様にし、従わない場合はペナルティを科す。
- ・鉢合わせの前に警察官が近くに居るのに何も注意せずに鉢合わせがあってから動くのはズルい。兆候あった場合(めんを外す&怒号など)に動くべきだと思います。
- ・結局、新居浜市が新居浜祭りを魅力として発信する以上、新居浜市がもっと祭りに関わらないといけない！自分達は知らない、運営委員会任せや警察にお願いするのはズルすぎる。喧嘩を無くすには市がもっと関与して罰則や犯罪になるかもしれない行為には毅然と警察と連携する。平和運行をしようと言う口先だけの新居浜市に痺れを切らしたのが住友グループのメッセージ！これを分からないまま新居浜市は対応するのか問われるのではないのでしょうか。昔は良かったことでも今はできないのが今の時代。祭りも同じ。喧嘩をした自治会から罰則金を高額払わせる。新居浜市が本気かどうか市民は見てますよ。容認派より今は否定派の数は増えていると私は感じます。
- ・真剣に議論するのであれば、「地区自治会や神社等が関係する祭礼行事であることから、政教分離により市は祭りや太鼓台そのものの運営に関与することができず」という前提を見直すべきだと考えます

#### 【平和運行・祭り本来の姿】

- ・太鼓台関係者による平和運行徹底の体制づくりに票を入れた理由です。警察の取り締まりは充分だと思う。ペナルティがあっても川西川東地区は毎年のように喧嘩しているので、意味がないと思うし、逮捕者が出ると全国放送で報道されて、結果的に新居浜のイメージが悪くなる。メリットの新設はコストもかかるでしょうし、喧嘩したい地区はメリットがあってもやる所はやると思う。上部地区(特に山根公園)の祭りに目立った喧嘩が無いのは、それぞれの地区が喧嘩をしようと考えてない事、観客も綺麗な太鼓台を勇壮華麗さを期待して集まっているからだと思う。なので、この回答をしました。
- ・そもそも太鼓祭は、地区の氏神に五穀豊穡を願う祭なので、喧嘩が多発するなら統一運行は無しにしてそれぞれの地区内だけの運行にしてほしいです。観光用の太鼓祭は平和運行できている山根公園だけで良いかと思います。
- ・毎年、喧嘩しないと言いながら必ず喧嘩するので、みつともないし、情けないと思う。川西地区ばかり喧嘩している、上部のように、並んで迫力のある魅力的なところを、もっとアピールすべきだし、それ

が市内全体で当たり前になるようなお祭りにしてほしい

- ・上部地区では、鉢合わせに頼ることなく、地域の人の熱意によって、非常に品格のある祭りが行われています。このような祭りの姿こそ、新居浜が全国に誇るべき姿です。悪い慣習は改め、太鼓台の美しさや地域の結束など、本当に誇れる文化を次世代へ継承すべきだと考えます。
- ・子どもからお年寄りまで楽しめるお祭りがいい

#### 【鉢合わせのルール化・ショー化】

- ・太鼓台をぶつけ合いたいなら太鼓台をぶつけ合う機会を作ってあげればいい。宇和島の闘牛のように飾り幕を外した状態でぶつけてあったりかき棒を折ったりする競技にすればいい。太鼓一台に人数制限をしてスタジアムのような闘技場をつくり各地区で試合形式で行う。一年間で試合をして各地代表で新居浜チャンピオンを決める。試合中に怪我人を出したり、人の喧嘩があったら失格。イベントとしての喧嘩太鼓をルールを作ってやればいい。新しいスタイルの新居浜名物を作ればいい！
- ・松山地方祭のみこしが鉢合わせをショー化してお客様を楽しませている。新居浜太鼓祭も上部の山根グラウンドでやっているように鉢合わせを”寄せ太鼓”としてショー化し見物客を楽しませて欲しい。
- ・太鼓台同士の喧嘩いわゆる鉢合わせは見たい人がいることも事実なので鉢合わせのルールを作ってみたらいいのではないか。そもそも市も警察も止める気があるようには思わないし中途半端に禁止にするならルール決めをしてやれば良いと思う。ただし、人同士の殴り合いやケンカは即暴行事件として現行犯逮捕するなど有無を言わず厳しくする。
- ・事前申請制場所の提供と設置、安全確保、すべてやりたい側が準備ルールを決める。受けるかどうかは任意。これ以外でケンカした地区の太鼓は強制廃止。
- ・去年の川西地区の一方的に太鼓台を執拗にぶつける行為は、とてもショックで残念でした。いざりや端カンをぶつけるくらいはパフォーマンスとして、うまく運営できないのかな？とも思います。度を越さないパフォーマンス、見せる・魅せるかき比べ、どちらにしても運営、各地区、かき夫、観客が一緒になって盛り上げて楽しむ祭りに少しでも近づいてくれたらいいのにとともに思います。

#### 【安全面・観客の危険】

- ・今まで鉢合わせに居合わせたことがなく、去年初めて経験したが、周りの観客が一斉に走り出し、引っかけられたりして危なかった。それで、言い合いにまでなってしまうととても嫌な思いをした。周りで見ている人間にも危険が及ぶのでやめてほしい。
- ・現在、私は幼児を育てていますが、新居浜の太鼓祭りが好きで、太鼓台を見るととても嬉しそうにしています。しかし、喧嘩がいつ始まるか分からない状況だったり、人同士が争っていたり、危険だなと感じることも多くあり、とても残念に思いますし、親として、子どもにそういう場面を見せたいと思いません。
- ・鉢合わせが有ると危ないし怖いし面白く無いから上部以外は参加しないし見にも行きません。



©NPO 法人新居浜まちづくり隊

#### <まとめ>

新居浜太鼓祭りは、地域住民が主役となる秋祭りです。本市では、新居浜太鼓祭りを全国に誇る伝統文化行事として広くPRしていくため、太鼓台の鉢合わせ（喧嘩）等による事故のない、楽しい秋祭りの実現に向けて、太鼓台の鉢合わせ（喧嘩）に対する地域住民の皆様の意識を把握することを目的として、今回のアンケートを実施しました。なお、同じテーマの市政モニターアンケートは、平成29年度にも実施しています。

平成29年度に実施したアンケートと今回のアンケートを比較すると、問2の「新居浜太鼓祭りが好きですか」に対して、「好き」「どちらかと言えば好き」と回答された方は、平成29年度が約75%であったのに対し、今回のアンケートでは約68%となっており、太鼓祭りを好きと感じている方の割合が減少傾向にあることが分かります。一方、問3の「鉢合わせ（喧嘩）について、どのように感じていますか」に対して、「いけないことであり、なくすべきだと思う」と回答された方は、平成29年度が約65%であったのに対し、今回のアンケートでは約74%となっており、太鼓祭りにおける鉢合わせ（喧嘩）をなくすべきだと考える方の割合が増加していることが分かります。その一方で、今回のアンケートでも約2%の方が「いけないことだとは思わない」と回答されており、鉢合わせ（喧嘩）を太鼓祭りの一部として捉えている方も、少数ではありますが、いらっしゃる事が分かりました。

また、問10の「中高生のかき夫参加についてどう思いますか」に対しては、高校生について、「安全が確保できるのであれば参加させてもかまわない」と回答された方が57%と、半数を超えています。中高生のかき夫参加については、伝統文化の継承や祭りの担い手不足の解消などのメリットがある一方、鉢合わせ（喧嘩）による負傷や、飲酒・喫煙など、さまざまなリスクも懸念されます。そのため、中高生が安心して祭りに参加するためには、保護者や学校が安心して参加させることのできる環境づくりが重要であると考えています。

本テーマについては、自由意見においても非常に多くのご意見をいただいております。新居浜太鼓祭りに対する市民の関心の高さがうかがえる結果となりました。本市としましては、今回のアンケートでいただいた多くのご意見を参考にしながら、鉢合わせ（喧嘩）や事故のない、楽しい新居浜太鼓祭りの実現に向けて、平和運行に関する啓発や太鼓台関係者への働きかけに努めてまいります。

（担当課：観光物産課）



©NPO 法人新居浜まちゆり隊